

関西業務ニュース

2012年12月26日 No.204

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

12月25日業務委員会開催

「平成25年3月新幹線ダイヤ改正について」会社提案！

《若干のやりとり》

協議前にマスコミ発表は労働組合軽視だ！

組合：幾度となく言っているが、マスコミへの公表が21日で、組合へは今日となっている。まずは組合に提示して議論しそれから公表が順序ではないか。強く抗議する。

会社：声は聞いておく。

N700A編成は固定運用か？

組合：ダイヤ改正でN700Aは固定しないと会社のホームページには記されているが、今回の会社資料のどこに書いてあるか。

会社：「共通運用」ということである。

組合：具体的にどれがN700Aと決まっているのか。編成数は。

会社：今の段階では答えられないが、お客様は事前に駅等で訪ねればわかる。お客様からすればそう変わるものではないと思う。

組合：N700Aは一日何本走る予定か。

会社：わからない。編成数は24年度で6編成、25年度で7編成プラスとなる。

組合：(資料5ページの)時間短縮(3分)のぞみに使うということか。

会社：初めて2時間33分に短縮としたのではなく、10本目ののぞみを作る為の変更である。

引上げ3・4番、27番線使用開始に伴う教育は！？

組合：(資料3ページの)引き上げ3・4番と27番線の扱いについての教育はどうなっているのか。

会社：2月の半ばに一部の乗務員にハンドルをもってもらう。

組合：一部とは試運転か。

会社：試運転用である。他の乗務員にはビデオなど必要な教材作成し、全員がハンドルは持たないがそれによる。

組合：引き上げ3・4番線に入れる線は全てか。

会社：ハッキリとはこたえられない。23から27番だったと思う。

組合：入換え時間変更が発生するのではないのか。

会社：行路・交番提示の時になると思う。ATC自動で入ることになる。一旦停止はな

くなり、庫内も30km/hとなる。40信号で発車し30で庫内停止位置というイメージだ。

組合：庫内も30km/hとは初めてのケースだが、問題ではないのか。

会社：作業者の線路横断なしであり、設備的に安全を担保し実施する。

組合：断路器とか、検修作業とかするのではないのか。

会社：申告作業はする。

要員の増はないのか！？

組合：ダイヤ改正以降、乗務員の要員は増えるのか。

会社：要員は別途精査中である。

組合：列車本数に応じて、行路作成するのではないのか。

会社：お客様のニーズに応えながら、列車本数を行路に組み込んでいる。効率的な行路作成を考え、増えるか減るか全てを含めて作成に努めている。ただ、今どうなるかは分からない。出来次第提案する。

組合：本数増に伴い、休日出勤もやっている。要員は確保しているのか。

会社：本数増が即要員増となるかは別問題。効率的な行路作成に努めていく。

引上げ線の今後については？

組合：引き上げ3・4番線を使うということは引き上げ11・2番線は工事に入るという認識でいいのか。

会社：使用停止し工事に入る。今のところ次のダイヤ改正までは使う予定はない。

西会社の車両の乗り入れについて？

組合：西のB編成やN編成の東海運用の増減はあるのか。どのような運用をしているのか。

会社：運行ダイヤとセットで運用している。

組合：西の編成は社員も嫌っている。少しでも東海エリアでの運用を減らすように。

今後のスケジュールについて！

組合：行路交番はいつ頃出すのか。

会社：例年通り1月中旬くらいに提示できればと考えている。要員・業務量については2月頃になるかと。

組合：出来れば早めに出すこと。これまでも行路交番の申し入れをしても改善されない。

会社：毎年の意見を踏まえて反映するように努力している。

組合：ミュージックチャンネルが廃止されるが、これに伴う作業は発生するのか。

会社：使用停止する作業があれば、正式に連絡する。

※別紙 会社提案資料7枚添付

会社より、以下の《お知らせ》二件がありました。

1. 鳥飼車両所、研削1・2番線の1・16号車に昇降台を今年度内に設置する。
2. 交番検査車両所における稼働日の変更について
年度初にお知らせした交番検査施工編成を2，241編成から2，232編成へと変更する。よって稼働日は249日から248日となる。

以上